

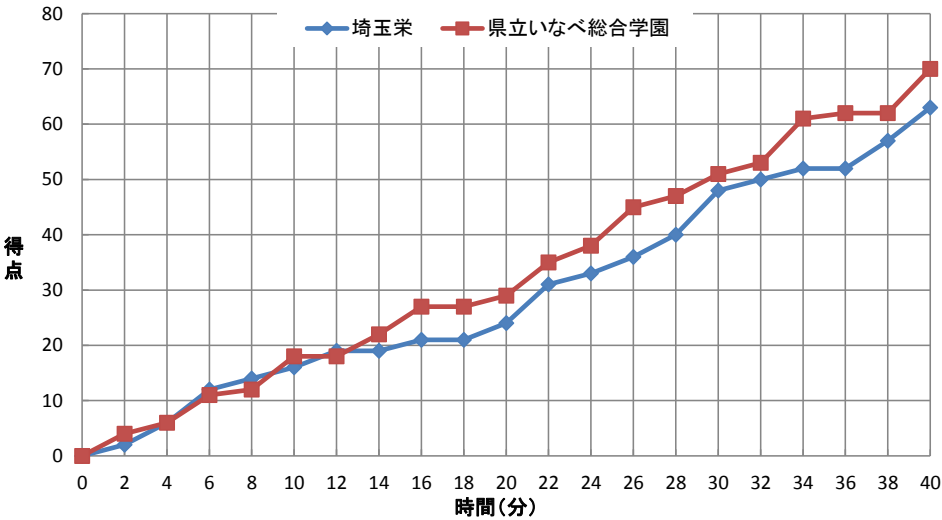


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女 子		平成28年7月31日 12:50 開始											
1 回戦		県立総合体育館小アリーナ G											
埼玉栄		63	161st18 82nd11 243rd22 154th19					70	◎ 県立いなべ総合学園				
(埼玉県)									(三重県)				
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	弘重 綾野	16	2	4	2	3	* 4	橋本 棕	20	0	8	4	4
* 5	梶原 理奈	14	0	6	2	4	* 5	蛭川 文香	26	8	0	2	2
6	野口 ブルーナ	-	-	-	-	-	* 6	満仲 菜南	6	0	3	0	4
* 7	吉田 有花	16	1	3	7	4	* 7	平野 ルミ	5	0	1	3	2
8	上澤 瑛	-	-	-	-	-	8	若原 伊織	2	0	0	2	4
9	木村 萌花	-	-	-	-	-	9	大白 彩未	-	-	-	-	-
10	中島 伶那	-	-	-	-	-	10	中尾 紀香	-	-	-	-	-
11	矢部 鈴奈	-	-	-	-	-	11	伊藤 菜々子	2	0	1	0	0
12	伊藤 澄華	0	0	0	0	1	12	田中 佑奈	-	-	-	-	-
* 13	神山 夢来	9	0	4	1	3	* 13	加藤 美夕	6	0	2	2	3
14	大和 千夏	0	0	0	0	3	14	橋本 亜耶	3	1	0	0	1
* 15	石川 愛	8	0	4	0	4	15	奥村 優花	-	-	-	-	-
コ-チ	一ノ瀬 和之					0	コ-チ	桜井 則之					0
Aコ-チ	串田 愛美						Aコ-チ	佐藤 祐佳					
合 計		63	3	21	12	22	合 計		70	9	15	13	20
主審: 藤田 悠美													
副審: 和田敏文													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	15:00	:	33:49	35:34	39:15	:	:	:	:
TeamB	19:39	:	38:28	38:39	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

スタートメンバーは埼玉栄4、5、7、13、15。いなべ総合は4、5、6、7、13。

第1P、両チームハーフコートマンツーマンで試合開始。埼玉栄#13のドライブで先制するが、すぐさまいなべ総合#6のカットインなどで逆転。その後も点の入れ合いになる。埼玉栄の高さと強さを生かしたプレーに対し、いなべ総合はスピードを生かしたプレーを展開する。埼玉栄#7のドライブが決まり、リードする。いなべ総合も3P、ミドルなどで主導権を渡さず、一進一退の攻防となる。残り1分半を切り、いなべ総合は5、14の連続3Pで2点のリードを奪い、第1P終了。

第2P、埼玉栄は#4のフリースロー、#5のミドルで逆転に成功する。いなべ総合は#13の速攻、ゴール下で再逆転。#5も3Pを思い切りよく放ち、6点差へとリードを広げる。埼玉栄は残り5分でタイムアウト。その後、いなべ総合はディフェンスを1-1-3へと変え、相手のミスを誘い、速攻を出す。相手の高さに阻まれ、得点をできない。埼玉栄も#7のドライブ、#5のオフェンスリバウンドなどで対抗する。埼玉栄はファウルからフリースローをもらがなかなか決められず、追いつけない。第2P終了間際、いなべ総合は#4のドライブで得点し、リードを5点とし、2P終了。

第3P、埼玉栄はオールコート2-2-1プレスから1-2-2ゾーンにディフェンスを変化させ、相手のミスを誘う。いなべ総合は#5の3Pが効果的に決まり、リードを広げる。埼玉栄は#7、#4のドライブで加算するも、要所でいなべ総合#5の3Pが決まり、リードを保つ。埼玉栄はインサイドを中心に攻め、じわじわと点を詰める。残り1分半埼玉栄#4の3Pが決まり、3点差まで詰め寄り、試合は第4Pへ。

第4P、開始早々埼玉栄#13がドライブを決める。いなべ総合は#4がオフェンスリバウンドからバスケットカウントを得る。さらに、フリースロー後からトラップをしかけ、ターンオーバーを誘い、いなべ総合#5の3Pが決まり9点差までリードを広げる。その後、両チーム得点を伸ばせないまま、5分を切り再び、埼玉栄がタイムアウトをとる。タイムアウト後、埼玉栄#4の3P、ドライブが決まり、5点差に詰める。残り1分30秒でいなべ総合タイムアウトを要求。ディフェンスを変化させたいなべ総合だが、埼玉栄#15のゴール下が決まり、再びタイムアウト。埼玉栄#7のミドルが決まり、2点差に詰め寄るも、ここでもいなべ総合#5の3Pが決まり、5点差にリードを広げ、埼玉栄がたまたまタイムアウト。すぐさまシュートを打つも決められず、万事休す。接戦の末、63対70でいなべ総合が勝利した。

両チームの気迫あふれるナイスゲームであった。

戦評: 山本 風太

記録: 可部高校